

abst-A05

SPring-8/SACLA/NanoTerasu 利用制度について

公益財団法人高輝度光科学研究センター(JASRI)利用推進部

久保田康成

(1) SPring-8/SACLA/NanoTerasu の利用制度

国の科学技術・学術審議会 量子ビーム小委員会等での指摘を参考に、その時々¹の社会的・政策的ニーズに合わせて、様々な利用制度を設けています。2025 年度の利用制度は下表の通りです。

SPring-8の利用制度					SACLAの利用制度				
カテゴリー	課題の種類	概要	募集	利用料金 消耗品費除く	カテゴリー	課題の種類	概要	募集	利用料金 消耗品費除く
成果公開型 (無料)	一般課題	ユーザーの大半に利用されている放射光を利用した一般的な研究全般対象の課題。	年2回/年6回 公募	無料	成果公開型 (無料)	SACLA一般課題 (成果非専有利用)	ユーザーの大半に利用されている、X線自由電子レーザーを利用した一般的な研究全般対象の課題。試験利用（下記）との併願も可能。	年2回公募	無料
	大学院生提案型課題	大学院生が主体的に立案、提案、遂行することを奨励する利用課題。	年2回/年6回 公募 年1回公募※1	無料		SACLA緊急課題	公共的かつ緊急性を有する極めて重要な研究が対象の課題。	随時	無料
	緊急・特別課題	公的緊急性・国民の関心が高く科学技術や社会・経済への寄与が極めて高い即時利用の必要性を有する研究が対象の課題。	随時	無料	成果非公開型 (有料)	SACLA一般課題 (成果専有利用)	成果公開の義務が課されない利用課題。優先的にビームタイムが配分される。 2時間単位で利用可能。	年2回公募	109万8千円 /2時間
成果公開型 (有料)	成果公開優先利用課題 (成果準公開利用)	審査が簡略化され、優先的にビームタイムが配分される利用課題。民間企業もしくはは産業界に準ずる機関の方を対象に、特許やプレスリリース等、成果物の対象を拡張した制度。	年2回/年6回 公募 年1回公募※2	14万4千円/ 8時間 28万8千円/ 8時間		成果専有時期指定課題	随時申請が可能であり、申請後速やかに手続きが行われる利用課題。2時間単位で利用可能。	随時	164万7千円 /2時間
	成果専有課題	成果公開の義務が課されない利用制度。優先的にビームタイムが配分される。	年2回/年6回 公募	48万円/ 8時間	NanoTerasuの利用制度				
成果非公開型 (有料)	成果専有 時期指定課題	随時申請が可能であり、申請後速やかに手続きが行われる利用課題。	随時	72万円/ 8時間※3	カテゴリー	課題の種類	概要	募集	利用料金 消耗品費除く
	測定代行課題	施設側スタッフがユーザーに代わって測定を代行する利用課題。試料をSPring-8に送付することで実施可能。1時間単位で利用可能。	年6回公募	9万円/時間	成果公開型 (無料)	一般課題	放射光を利用した一般的な研究全般対象の課題。	年2回	無料
			随時	12万円/時間					

※1 博士後期課程の期間と連動する1～3年間利用できる「大学院生提案型課題（長期型）」は年1回公募となります。
※2 成果公開優先利用課題の1年課題は年1回公募となります。
※3 成果専有時期指定課題には、1時間単位で利用が可能なビームラインもあります。

(2) SPring-8 の利用料金

持続的な高度化を推進しながら旺盛なユーザーニーズに応え続けるために、「運営費回収方式」に加え、施設が提供するサービス等の価値に相当する分の受益者負担も可能とする利用料金制度に 2025A 期より変更しました。

